
SpeakUp ポリシー

ポリシーの詳細

ポリシーの詳細	
ポリシー名	SpeakUp ポリシー
簡単な説明	本ポリシーでは、不正行為の疑いやビジネス倫理規定、その他の企業ポリシー、または法律違反に関する懸念をいつ、どこに、どのように報告するかについて説明します。
所有者	グローバル法務コンプライアンス部門
連絡先	corporatecompliance@wolterskluwer.com
本ポリシーは誰に拘束力があるか	Wolters Kluwer の従業員および Wolters Kluwer との業務関連のコンテキスト内で活動する第三者。
承認レベル	執行委員会 (EB)
発効日	2025 年 6 月 1 日

バージョン履歴

バージョン番号	最終チェック (年)	最終修正	最終改正での変更点	承認者
2.0	2025	2025	このバージョンは、SpeakUp ポリシーの以前のバージョンに代わるものです	2025 年 5 月 27 日、EB

コンテンツ

1.ポリシーの概要	4
2.誰が発言できるでしょうか?	4
3.何を報告しますか?	5
4.懸念を表明するにはどうすればいいですか?	6
4.1 Wolters Kluwer の社内リソース	6
4.2 Wolters Kluwer SpeakUp システム	6
4.3 外部報告	7
5.懸念を表明した後はどうなりますか?	7
6.倫理・コンプライアンス委員会	8
7.報復禁止ポリシー	8
8.機密保持	9
9.匿名	9
10.データのプライバシー	9
11.本ポリシーの遵守	10
12.ポリシーの更新	10

1. ポリシーの概要

Wolters Kluwer では、誠実に事業を遂行し、適用される法律や規制、当社のビジネス倫理規定（「規定」）、およびその他の企業ポリシーを遵守することに尽力しています。

当社は、オープンなコミュニケーションラインと安全な環境を通じて信頼の文化を推進し、誰もが否定的な結果を恐れることなく自信を持って質問したり懸念を表明したりでき、また当社の規範違反が速やかに対処される環境を提供します。規範に従うということは、たとえ疑わしい場合でも、懸念事項や違反を報告することも意味します。声を上げることは、当社が良好な評判を維持し、ビジネスを成功させるために不可欠です。

この SpeakUp ポリシー（以下「ポリシー」）では、誰が発言できるか、何について発言できるか、どのように発言するかについて説明します。また、声を上げる人のためにウォルターズ・クルーワーが講じている安全策についても説明しています。

本ポリシーは、Wolters Kluwer のすべての企業に適用されます。「Wolters Kluwer」または「Wolters Kluwer 企業」とは、Wolters Kluwer N.V. およびその子会社、および Wolters Kluwer が過半数の株式または経営陣の任命権を保有するグループ企業を指します。一部の Wolters Kluwer 企業については、適用される（現地の）法律および規制に基づいて、追加のより詳細な規定または例外が適用される場合があります。これらの追加および/または例外は、本ポリシーの法人固有の補遺に記載されています。本

詳細情報

Wolters Kluwer のイントラネットの SpeakUp ページにアクセスしてくださ

い:<https://wolterskluwer.sharepoint.com/sites/ConnectPortal/Corporate/EthicsCompliance/SitePages/SpeakUp.aspx>

2. 誰が発言できるでしょうか？

以下の個人（総称して「報告者」）は、本ポリシーに従って発言できます：

- この SpeakUp ポリシーの目的上、従業員、自営業者や人材派遣会社を通じて雇用されている人などの請負業者、ボランティア、研修生など、Wolters Kluwer の労働力の一員である個人；
- Wolters Kluwer の従業員のメンバーとなる候補者および Wolters Kluwer の従業員の元メンバー；そして
- Wolters Kluwer と業務上関係のある第三者（Wolters Kluwer の株主、監査役会所属者、および Wolters Kluwer にサービスを提供している請負業者、下請け業者、サプライヤーの指示の下で働く個人など）。

上記に挙げたすべての個人は、本ポリシーに従って懸念事項を提起することができます。ただし、Wolters Kluwer の従業員ではない報告者に対しては、Wolters Kluwer は合理的に可能な範囲で、この SpeakUp ポリシーに概説されているサポートと保護を提供します。非従業員との関係の性質上、一部の保護は適用されない場合や関連しない場合があります。

3.何を報告しますか？

報告者は、不正行為の疑いまたは実際の不正行為に関する懸念を表明することが奨励されます。不正行為とは、当社の規範、Wolters Kluwer のその他のポリシー、または適用法に違反することと定義されます。懸念事項があれば誠意を持って報告する必要があります。

完全なリストではありませんが、不正行為の疑いまたは実際の不正行為の例としては、次のようなものがあります：

- 贈収賄や競合他社との共謀などの詐欺的、腐敗的、または違法な行為；
- Wolters Kluwer の記録の改ざん、不正確な売上情報の報告、法人クレジットカードの不正使用などの財務または会計上の不正行為；
- 機密情報または専有情報の不正開示など、Wolters Kluwer の財産（知的財産を含む）の不正使用または不正流用；
- いじめ、差別、嫌がらせなど、職場での破壊的または不適切な行為；そして
- 誠意を持って懸念を表明した人に対する報復。

レポートにはどのような情報を含めるべきですか？



懸念を報告する際には、懸念事項についてできるだけ多くの情報を共有することをお勧めします。これにより、あなたの懸念事項をより適切に評価し、適切な次のステップを決定するのに役立ちます。

役に立つ情報の例：

- 不正行為の疑いの背景と内容
- 不正行為の疑いのある人物および目撃者の氏名
- 不正行為が疑われる場所と日時
- 報告を裏付ける証拠や文書（電子メールなど）

すべての情報が揃っていない場合はどうすればいいのでしょうか？



懸念がある場合は、持っている情報とともに報告してください。私たちはあなたがすべての事実と詳細を知っていることを期待していません。その後、あなたの懸念事項を調査し、次のステップを決定します。

本ポリシーは、以下の報告には使用されません：

- 雇用条件、業績問題、報酬、個人的な対立、または同様の話題に関連する従業員関係の問題に関する苦情または不満。従業員関係

問題は上司または人事担当者に伝える必要があります。

- 「悪意」の状態
これは、虚偽であると知っている、または合理的に信じている告発、または悪意を持って、あるいは個人的な利益のために行われた告発を行うことを意味します。この SpeakUp ポリシーの誤用は厳重に対処されます。悪意を持って故意に報告した場合は懲戒処分の対象となる場合があります。

「誠意」とは何ですか？

誠意を持って懸念を表明するということは、調査の結果、事実ではないことが判明したとしても、潜在的な不正行為や、当社の規範、その他のポリシー、または法律への違反について懸念があると心から信じていることを意味します。

4. 懸念を表明するにはどうすればいいですか？

4.1 Wolters Kluwer の社内リソース

Wolters Kluwer には、不正行為の疑いに関する懸念を報告するためのリソースがいくつかあります。あなたにとって最も快適な方法を選択できます。

懸念事項は以下の宛先に報告できます：

- あなたの直属の上司または監督者、あるいはより上級の上司、またはあなたが従業員でない場合は、Wolters Kluwer での通常の連絡先；
- 人事担当者に直接、または [Workday Help](#)（Wolters Kluwer の従業員のみ利用可能）を通じて連絡してください；
- グローバル法務コンプライアンス部門のメンバー；または
- SpeakUp システム - 詳細については次のセクションを参照してください。

4.2 Wolters Kluwer SpeakUp システム

Wolters Kluwer のグローバル SpeakUp システムは、本ポリシーに従って懸念事項を報告できるコミュニケーションシステムです。このシステムは、不正行為を報告するための機密性と安全性を確保した通信チャネルを提供します。

SpeakUp システムは、サードパーティによって提供され、1日 24 時間、週 7 日、年間 365 日利用できます。SpeakUp システムを通じて、自分の言語で懸念事項を報告でき、匿名で報告できます。

SpeakUp システムのオンライン受付フォームまたは音声メッセージ サービスに電話することで、懸念事項を伝えることができます。一部の国では、Wolters Kluwer オフィスでの直接面談を要求する権利がある場合があります。このオプションにご興味がある場合は、SpeakUp システムのメッセージにその希望を記載してください。

グローバル SpeakUp システムを通じて提起された懸念事項の受け付けは、倫理およびコンプライアンス委員会に代わって、グローバル法務およびコンプライアンス部門内の Wolters Kluwer 企業倫理およびコンプライアンス チームによって行われます。

SpeakUp Web システム経由で報告するにはどうすればいいですか？

グローバル SpeakUp Web システム経由で懸念事項を報告するには、次の手順に従ってください：

- <https://wolterskluwer.speakup.report/wkglobal> にアクセスします
- 「新しいレポート」をクリックします
- ご希望の言語を選択します
- パスワードを作成し、固有のコードを書き留めます。これにより、後でログインし直したときに応答を読むことができます。

ご質問や最新情報がある場合がありますので、定期的にご確認ください。

4.3 外部報告

Wolters Kluwer は、懸念事項を報告するための信頼できる社内リソースを提供し、あらゆる懸念事項が適切に検討され、対処されるよう努めています。報告者は、懸念事項を報告するために、上記の Wolters Kluwer 社内リソースのいずれかを使用することをお勧めします。あなたの居住地と懸念の性質に応じて、居住国の適切な外部機関に不正行為の疑いに関する懸念を報告する権利がある場合もあります。

報告者は、不正行為の疑いについてアドバイザーに秘密裏に相談できます。

5. 懸念を表明した後はどうなりますか？

Wolters Kluwer は報告されたすべての懸念事項を検討し、必要に応じて調査します。SpeakUp システムを通じてあなたの懸念事項を提出すると、通常は2営業日以内、遅くとも7日（7暦日）以内に、当社は懸念事項の受領を確認します。

懸念事項を報告した後の手順

ご懸念事項の受領確認後、以下の手順が実行されます:

1. 懸念事項が本ポリシーの範囲内であるかどうか、また調査が適切かどうかを評価するための初期レビュー。
2. 調査が適切であると判断された場合、あなたの懸念事項は公平かつ有能な社内担当者に割り当てられ、調査が行われます。
3. 調査は当社の社内調査プロトコルおよび適用される法律および規制に従って行われます。
4. 調査員は追加情報や質問のためにあなたに連絡し、プロセスについてあなたに知らせ続けることがあります。
5. 当社は、フォローアップに関するフィードバックを速やかに提供するよう努め、いかなる場合でも、あなたの懸念事項の受領確認後3か月以内（適用される法律によっては、30日まで短縮される場合があります）にはご提供いたします。このフィードバックには、たとえば、調査が開始されたかどうかなどが含まれる場合があります。

6. 倫理・コンプライアンス委員会

倫理・コンプライアンス委員会は、本ポリシーに基づいて報告された不正行為の疑いに関する監督責任を負います。倫理・コンプライアンス委員会は、グローバル法務・コンプライアンス部門の EVP 兼法務顧問が委員長を務め、SVP、法務顧問、会社秘書で構成されます;最高人事責任者;内部統制担当副社長兼最高コンプライアンス責任者;および内部監査担当副社長。

倫理・コンプライアンス委員会には、[電子メール](#) または委員の一人を通じて直接連絡を取ることができます。

7. 報復禁止ポリシー

Wolters Kluwer は、誠意を持って懸念を提起した報告者や調査に参加した個人に対するいかなる種類の報復に対しても、一切容認しない方針をとっています。当社は、懸念事項を報告した結果として報告者に損害を与えることを意図したいかなる行為または不作為も容認しません。報復行為は本ポリシーに違反するものであり、以下の第 11 項に記載されているように懲戒処分の対象となる場合があります。あなた自身または他の誰かが報復を受けていると感じた場合は、[電子メール](#) または SpeakUp システムを通じて、企業倫理およびコンプライアンス チームに直ちにその懸念を報告してください。

報復の例としては次のようなものがあります:

- 停止または終了;
- 降格または昇進の差し止め;
- 職務、勤務地、賃金、労働時間等の条件の変更;
- 否定的な業績評価または雇用証明書;
- 不法な差別または不当な扱い;そして
- 社会福祉行事からの意図的な排除。

8.機密保持

提起されたすべての懸念事項は、報告者および報告書に記載されたその他の人物の身元を含め、秘密裏に処理されます。機密性は、報告の適切な調査と懲戒処分または是正措置の実施の必要性、および関係国のプライバシー法に従って、可能な限り維持されます。

報告者によって提起された懸念事項は、調査の実施または参加の目的で知る必要がある個人に対してのみ開示されません。

9.匿名

よりタイムリーで効果的なフォローアップと調査を可能にするため、報告者には身元を明らかにするよう奨励しています。ただし、SpeakUp システムでは、報告者に懸念事項を匿名で報告するオプションが提供されます。ただし、懸念事項を匿名で報告すると、調査が複雑化したり、妨げられたりする可能性があることを理解することが重要です。

10.データのプライバシー

Wolters Kluwer は、適用されるプライバシーおよびデータ保護の規則と規制に従い、本ポリシーに基づいて委託された個人データを保護することに尽力しています。

Wolters Kluwer は、報告者による懸念事項の記録と管理、違反の疑いの調査、調査完了後の必要な措置の実施、および当社経営のための匿名レポートの編集を目的として、本 SpeakUp ポリシーに基づいて提供された個人データを処理する場合があります。データプライバシー法の適用範囲において、当社は、個人データの収集および処理、ならびに法的義務の遵守の法的根拠として、正当な利益を根拠としています。

適用されるデータプライバシー法および調査の状況に応じて、透明性、アクセス権、訂正権、消去権など、個人データに関する一定の権利があなたに付与される場合があります。適用法の下では、例えば、そのような権利を行使すると特定の調査が著しく妨げられる可能性がある場合など、そのような個人の権利が制限される状況が発生する可能性があります。

当社が個人データを処理する方法の詳細については、Wolters Kluwer のグローバル データ プライバシー ポリシー、当社のプライバシーおよび Cookie に関する通知、またはあなたの所在地に適用される従業員プライバシー通知をお読みください。

11.本ポリシーの遵守

Wolters Kluwer のすべてのポリシーと同様に、Wolters Kluwer のすべての従業員はポリシーを遵守することが求められます。遵守は、本ポリシーの対象となる個人の責任となります。本ポリシーの遵守における度重なる不注意または不注意、および本ポリシーの意図的または故意の違反を含む不遵守または違反は、懲戒処分の根拠となり、雇用または契約の解除を含む場合があります。講じられる懲戒処分は、適用法および会社の方針に従い、違反の具体的な事実および状況に応じてケースバイケースで評価されます。

12.ポリシーの更新

本ポリシーは、規制またはビジネス上の必要性により別途規定されない限り、毎年見直されます。グローバル法務コンプライアンス部門グローバル法務コンプライアンス部門は、この SpeakUp ポリシーの確認と更新の責任を負います。

本ポリシーに関してご質問がある場合は、グローバル法務コンプライアンス部門の [企業倫理およびコンプライアンスチーム](#) にお問い合わせください。

法的通知

この文書と適用される現地の法律または規制との間に矛盾がある場合は、適用される現地の法律または規制が優先されます。本ポリシーは雇用条件を変更するものではありません。本ポリシーは、Wolters Kluwer N.V. の執行委員会によって承認および採択されており、現地の適用法および遵守すべき同意事項に従って全社的に実施されます。執行委員会は、適用法に従い、独自の裁量でいつでも本ポリシーを修正、改訂、中止、または終了することを決議することができます。本ポリシーは、他の言語にも翻訳されていますが、英語版と他の言語版との間に矛盾がある場合は、英語版が優先されます。他の言語版には、付属書の翻訳（該当する言語のみ）も含まれます。本ポリシーの最新版は、Wolters Kluwer のイントラネット ポータルおよび www.wolterskluwer.com でご覧いただけます。

© 2025 Wolters Kluwer N.V. および/またはその関連会社。無断転載を禁じます。



Wolters Kluwer N.V.
Zuidpoolsingel 2
P.O. Box 1030
2400 BA Alphen aan den Rijn
The Netherlands

[wolterskluwer.com](https://www.wolterskluwer.com)